


(9) ナイトハイキング

実施形態	自主活動		自然体験・感性	克服・達成	創意・工夫	自主性・協働性	リフレッシュ・体力
提出書類	なし		★★★★	★★			★★★★
必要経費	なし						
概要 (セールスポイント)	<p>交流家の敷地内で懐中電灯を持ちながら暗闇をハイキングします。夜空に広がる星空、時々聞こえる動物の鳴き声、阿蘇でしか味わえない自然があります。危険度の高いプログラムなので引率者の人数によって実施形態が異なります。</p> <p>※別紙のナイトハイキングの進め方をよくお読みください。 ※事前下見を必ず行ってください。</p>						
諸条件	場所	草原		対象	学校団体、自然体験活動団体、企業や子ども会などの団体すべて		
	所用時間	1時間程度		人数	400人程度		
	時期	通年		天候	晴天時		
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物			団体に準備する物			
	・無線機			・懐中電灯 ・暖かい服装（冬場）			
活動内容 (手順)	所用時間	項目	内容				備考
	5分	準備・事前指導 安全指導	①活動の意義の確認				動物出没時の対応を入念に確認する
	50分	活動	②ハイキング ③本部にて人数確認				
	5分	物品返却	④事務室に人数確認の報告+無線返却				

※実施形態については別紙のナイトハイキングの進め方をご覧ください

ナイトハイキングの進め方

ナイトハイキングの進め方は以下の2つのパターンがあります。

Aパターン（引率者が6名以上いるときに実施可能。※状況に応じて5名も可。要相談）

- ・引率者が先に各ポイントに行きます。
- ・児童、生徒を班ごとに出発させます。
- ・各ポイントの引率者は懐中電灯の明かりで児童・生徒を誘導します。
- ・各ポイント間で引率者が安全管理を行います。

Bパターン（引率者が3~4名の場合）

- ・児童、生徒を班ごとに出発させることはできません。
- ・引率者が先頭。また、班やクラスの間引率者が入り隊列で出発。
- ・児童、生徒の班やクラスの間引率者が入り安全管理を行います。

備考

- ・集合場所は広場とします。（寒い場合は本館1階ロビー、またはオリエンテーション室も可）
- ・1周約1.2 km
- ・1人で歩くと約30分（※班出発や、隊列、人数によって活動時間は様々です）

※野生動物が出た場合には無理をせず引き返してください。

※必ず事前下見を行ってください。

(9) ナイトハイキング コースマップ

国立阿蘇青年の家クロスカントリーコースは、施設まわりの草原を利用して作られています。散策、ジョギング、自然観察、クロスカントリー大会など幅広い利用が可能です。草原の風を肌で直接感じてみませんか？

- グラウンド周囲 300m
- 約500m(通称:桜坂コース)
- 約600m(通称:野草園コース)
- 約1,000m(通称:りんどうコース)
- 階段
- 舗装道路
- 橋



※ナイトハイキングの注意事項

Aパターン

- ・赤数字 (①~⑥) が引率者の立つポイントです。※状況に応じて5名も可。要相談

Bパターン

- ・ポイントに立つ必要はありません。(児童・生徒の班やクラスの間先生が入り安全管理を行う。)